

第428回 3月定例会

【会 期】 2月17日～3月18日(30日間)

【議決内容】 市提出議案23件と議員提出議案1件を可決、2件の専決処分を承認、9件の人事案件に同意・異議なしとしました。3つの常任委員会の審査内容はp.4～p.6に、全議案の議決の詳細は、p.12～p.13に記載しています。

ポイント!

令和3年度 予算案を審査

- ・令和3年度鯖江市一般会計予算(議案第1号)
- ・国民健康保険事業、後期高齢者医療などの4特別会計(議案第2号～第5号)
- ・水道事業、公共下水道事業などの3企業会計(議案第6号～第8号)

令和3年度の一般会計の予算規模は、258億4,800万円で、前年度比3.7%の減。はじめて4分の1以上を社会保障費(※)が占めることとなりました。

コロナ禍の厳しい財政状況の中、経費削減に努める一方で、新型コロナウイルス対策と市民の暮らしを守る様々な事業を継続するため、どういった予算編成となっているのか審査しました。

※ 社会保障費とは…

年金、医療、介護、子育てなどの分野の費用のことです。日本は、他国に類を見ない速度で少子高齢化が進んでおり、社会保障費の増加が問題となっています。



市の歳入予算は減収の見込み

令和2年度に比べ、令和3年度の歳入予算は3.7%の減。新型コロナの影響など、減収の要因はどういったものが考えられるのでしょうか。また、減収を受けて、歳出予算の編成に、どのように取り組んだのでしょうか。(⇒p.4)



コロナ禍での市内産業のPRを

コロナ禍を受け、例年開催されてきたものづくり博覧会が、昨年に続き中止となることが決定しました。しかし、こういった状況だからこそ市内産業をPRする事業が必要です。

どんな取組が考えられているのでしょうか。(⇒p.5)



除雪費は1億円の増額

令和3年度の除雪費予算は、令和2年度に比べ約1億円の増額となりました。近年では平成30年、そして今年1月にも大雪が降りましたが、除雪費増額の内訳はどういったものなのでしょうか。

(⇒p.5)



保育士の育成・確保に向けた取組は

全国的な問題となっている保育士不足。いくつかの要因が考えられますが、市内保育所での人材確保のため、市ではどんな取組を行っているのでしょうか。(⇒p.6)